

共同研究で 地域の企業を活性化

～地域の大学の活用術～

共同研究とは

共通の研究テーマについて、民間企業等から研究者や研究経費を大学に受け入れて共同で、または分担して研究を行うものです。

大学と共同研究する メリット

大学と共同研究を行うことで、大学の持つ人的資源や研究機器などの研究開発能力を有効に活用できます。

大学教員との マッチング

秋田県立大学には約200名の教員が在籍しています。企業のニーズに沿った教員とのマッチングを地域連携・研究推進センターがお手伝いいたします。



秋田県立大学が
全力でサポートします。



共同研究を促進する制度が始まりました！

(概要)

対象となる者：秋田県内に事業所のある企業や組合、
NPO法人等の団体

制度の内容：共同研究で、企業等が大学に支払う経費の半額を
大学が100万円を上限にサポートします。

例) 企業との共同研究において、大学の研究者が使用する費用が
100万円であった場合。

(本事業を活用しない場合) 企業負担：100万円

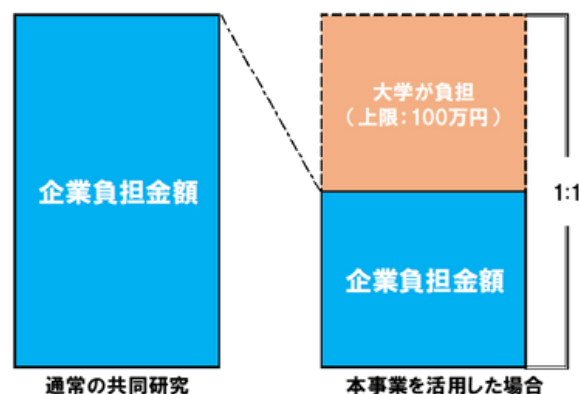
(本事業を活用した場合) 企業負担：50万円※

※ 研究に必要な残りの50万円は、大学が研究者に予算を配
分します

締切：令和8年9月30日(水)

まずは本学地域連携・研究推進センターへご相談ください！

共同研究における大学使用分の研究費負担のイメージ



秋田県立大学

地域連携・研究推進センター

☎018-872-1557

stic@akita-pu.ac.jp

秋田県立大学



<https://www.akita-pu.ac.jp/>